

災害救援ひのきしん隊 宮和分教会へ出動

7月6日からの連日の雨により、7月8日、宮和分教会敷地内の土砂が歩道へ多量に流出した災害が発生。7月9日、11時30分、松山西支部長より教務支庁へ宮和分教会の災害報告と災害隊の出動要請の入電あり。12:01、入口副委員長より神田委員長へ電話で内容を報告し相談。委員長が教区災害隊の出動を決定する。当教会長と相談の上、日程を7月28日より30日までに決定する。その後、コロナ感染が都市部を中心に拡大したため、感染拡大地域に移動されて2週間以内の方は参加を自粛していただいた。また、災害隊本部から出動に際してのコロナ対策ガイドラインが出され、それに沿って、原則日帰りで行い、遠方でやむを得ない方のみ教務支庁に宿泊した。



発行所 〒790-0852
天理教愛媛教務支庁
松山市石手5丁目8-27
TEL 089-921-7372
FAX 089-932-3521



7月28日、9時に現地で結隊式を行い、神田尚久教区長より挨拶の後、スタートした。生活班から安全に対する注意、マスクの着用や手指の消毒、毎日の検温、体調が悪くないか、こまめな水分補給を呼び掛けた。教会からは冷たいおしぼりや飲み物、また食事場所をクーラーで冷やしてくださり、暑さ厳しい中、ほっと一息つくことが出来た。

作業内容としては駐車場法面幅7メートル、高さ15メートルの範囲の土砂(3トンダンプ約8台分)が流出し、陥没したところに重機とスコップで成形し、2人1組になり土嚢を作り、約100段近く積み上げ、法面補修をした。作った土嚢は約1500袋。また陥没したところに土砂を2トンダンプ約8台分入れた。

この他の現場は、墓地参道の補修として側溝約10メートル2か所の泥上げ、法面の土留め工事を行った。最終日には草刈り機3台で草刈、隣家との境界の法面が崩れているところを幅約4メートルに土嚢を4段積み上げて土砂止めを行った。

参加者は28日39名(男37名、女2名)、29日33名(男31名、女2名)、30日26名(男24名、女2名)

復旧工事としては難しいところがあったが、土木の経験者に教えてもらい、一致協力してやり遂げることが出来、隊員一同達成感を味わうことが出来た。

愛媛教区隊隊長 瀨本陽一

社会福祉部

献血研修会

6月30日、久しぶりに開かれた教区常議会に引き続き、教区献血推進研修会が開催され、16名の方々が参加してくださいました。

日本赤十字社から献血推進担当者の2名が来庁され、愛媛県内の献血状況や問題点をお話してくださいました。やはり春先からの新型コロナウイルスの影響で5月ころは献血者が激減して困ったことや新聞やマスコミに協力を得て、献血は不要不急の外出に当たらないことをアピールしていただき、献血ルームに出向いてくれる人が増えてきたことなど専門的な立場からお話してくださいました。



最後に、質疑応答の時間では献血が出来る対象年齢や400ML全血と、成分献血の違いなど質問が相次ぎ、研修会を受けていただいた方々の意欲の高さが垣間見えた次第です。

教区としては、支部活動の一環として献血に出向いた方々には交通費の一部負担をさせていただきますのでどんどんご利用ください。

池田修一郎



布 教 部

移動布教実修会

6月29日、教区布教部では年に数回、教務支庁周辺で布教実修会を開催していますが、今年は松山を離れての移動布教実修会が計画されました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本部布教部や教区と相談の上、感染予防対策を十分にとった上で、各支部1名以内の参加で開催することとなりました。



また、布教の家愛媛寮生3

名の参加もいただきました。越智支部の伯方島木浦地区にある木之浦分教会に参拝の後、16名の参加者は4班に分かれてをいがかげ実動に出発し、感染防止の上から戸別訪問は行わず、路傍講演とチラシのポスティングのみを行いました。その後の反省会では、自粛が続く中、久しぶりの仲間との布教活動で勇み心をいただいたなどの声がありました。

二宮道一



教区役職員に聞く

東字和支部地方委員
高山浦分教会長

清家 菊次郎

今年も豪雨による水害が起こり甚大な被害が発生しました。なぜこのような災害が起きるのか私なりに親神様の思いを思索してみました。

かみなりもぢしんをふかせ水つきもこれは月日のぞねんりいふく 八 58

自然災害は親神様の非常に激しい残念立腹の現れであると思われれます。明治七年頃、山村御殿の事件で、御幣や鏡を没収されて、かんろだいつとめを止められ、世界たすけのつとめが出来なく成ったざんねんな思いが示されています。

立教160年正月、三代真柱様が神殿講話の中で、「教祖が教えて下さったかんろだいつとめを国々所々の教会で勤める事が用木の任務である」と話されました。

この話は興味深いお言葉なので今も私の心に残っています。もしも真柱様のお言葉が実現していたならば今の世の中は変わっていたと私は思っています。

教祖ご在世の頃は教えを素直に信じておたすけ活動に終始していた。そこに自ずから多くの奇蹟が生まれ、信仰が生き生きとしていた。

だが現在では眼前の仕事ばかりに捉われて精神的な修養を忘れ、元の理の探究を疎かにしてきた結果が今日の信仰の行き詰まりの原因ではないかと思われれます。

教祖が25年の寿命を縮めてまで急ぎ込まれたおつとめと私たちの成人を望まれた親心に報いる為に、この度の大きな世界の事情を通して自分の信仰を見詰め直し親の思いに近づく成人の道を歩んで行きたいと思えます。

青年会

教区青年会ひのきしん隊

只今、周桑分教会では旧神殿解体に取り掛かっており、業者には頼まず、先人の苦勞を偲びながら教会関係者の手で、少しずつ取り壊しています。その中、教区青年会ひのきしん隊にお手伝いいただき、去る6月27日に青年会有志3名と、瓦下ろしひのきしんを実施しました。

教会関係者だけでは屋根に上がっての作業は心配でしたが、頼もしい青年会の若い力によって、事故、怪我等無く円滑に作業が進み、本当に助かりました。また、ひのきしんの教理は本教にしか無い、素晴らしい教えであることを改めて実感しました。ありがとうございました。

鎌田泰司



天理直行高速バス

9月添乗担当者 釣井 政輝
 080 1172 3626
 10月添乗担当者 堀端 幸治
 090 9778 7462
 高速バス専用携帯電話
 080 2991 7372

※教会本部より月次祭の参拝を控えるようお願いがある場合は、運休いたします。

布教所開設届

◎松山東支部
 愛媛よよい布教所(兵神)
 受理日 令和2年4月17日

布教所解散届

◎今治支部
 法界寺布教所(愛豫)
 受理日 令和2年6月18日



一れつ会寄付金報告

宇摩支部	1件	13,200円	7月10日現在
新居浜支部	13件	32,000円	
道前支部	4件	4,000円	
今治支部	10件	9,000円	
松山南支部	2件	3,000円	
松山西支部	3件	9,000円	
松山東支部	3件	18,000円	
喜多支部	1件	10,000円	
西宇和支部	10件	20,000円	
東宇和支部	4件	6,000円	
宇和島支部	6件	12,000円	
宇摩支部	1件	10,000円	8月10日現在
新居浜支部	3件	3,000円	
今治支部	6件	6,500円	
松山東支部	4件	28,000円	
宇和島支部	6件	8,000円	

【お知らせ】
 次号は、10月・11月の合併号として、10月末の発行予定です。

教区の予定

【9月】	1日	松山南支部 例会 教務支庁清掃
	2日	松山東支部 例会
	4日	松山北支部 例会
	7日	寮祭 松山南支部
	13日	女子青年例会
	23日	教区輸送会議
	30日	主事会・常議会
【10月】	1日	松山南支部 例会
	2日	松山東支部 例会
	4日	松山北支部 例会
	11日	寮祭 松山北支部
	23日	教区輸送会議
	31日	主事会・常議会 一れつ会面接

教区一れつ会より

立教百六十五年十一月より各支部に開設いたしております一れつ会寄付金窓口であります。皆様方のご協力を賜り、件数も大幅に増え、感謝致しております。今後共、個人、教会、団体での尚一層のお心寄せの程、宜しくお願い申し上げます。

教区・支部 情報ねっと 
<http://tenrikyo-regional.net>

 **スマホにアイコン設置して簡単アクセス**
 いつでもどこでも JOYOUSLIFE

支部ページを「お気に入り」登録してご利用ください。

JOYOUSLIFE (ジョイアスライフ) は「陽気ぐらし」の手がかりとなる記事を厳選した、キュレーションサイトです。